

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム 福寿万記の里

目標達成計画

作成日: 平成 30年 5月 11日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	35	夜間も含めた緊急時(災害時も含む)対策が不十分。	地域と連携強化を図り、災害時の対応ができるよう体制を整える。また夜間時の連絡・協力体制を見直し、現状の夜勤配置における問題点を改善する。	施設内の避難訓練の実施と運営推進会議を通して、地域と連絡を密にとり、災害時の体制を整える。夜間はシチュエーションに応じた対応ができるように、日頃から問題点の洗い出しと対応方法を検討し、実践する。 12ヶ月
2	4	運営推進会議の定期開催と行政との連携不足。	運営推進会議の定期開催と行政との連携強化。	新年度より今まで3~4か月に1度だった会議を概ね2か月に1度開催し、その会議に行政の関係者を招待することで、施設と行政との連携を強化していく。 12ヶ月
3	14	他事業所との交流不足。	他事業所との交流の活性化。	運営推進会議に参加していただくなどの方法で交流を図り、共同で研修を行うなど、他の事業所との交流を活性化する。 12ヶ月
4	49	外出機会の減少	定期的な外出機会の確保。	フロア単位でレクリエーション計画を作成・実施し、そのフロアに入居している利用者様に合った外出支援を行う。 3ヶ月
5				ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。